

法人名 財団法人 山梨県子牛育成協会

【法人の概要】

代表者名	理事長 遠藤 順也(山梨県農政部長)	所管部(局)課	農政部畜産課	
所在地	山梨県北杜市小淵沢町大平10061	電話番号	0551-36-3200	
ホームページURL		E-mailアドレス	yatuboku@io.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	10,000 千円	設立年月日	昭和52年3月23日	
主 な 出 資 者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	山梨県	10,000 千円	100.0 %
	2		千円	0.0 %
	3		千円	0.0 %
	4		千円	0.0 %
	その他	団体(者)	千円	0.0 %
設立目的 経緯概況等	<p>設立目的: 山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。</p> <p>経緯概況等: 県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。 昭和52年:(財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。 昭和60年:県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。 平成5年:県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。 平成12年:堆肥処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。 平成13年:周年預託業務を開始。 平成18年:県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の管理業務について、指定管理者として県と委託契約を締結した。</p>			

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H16年度	H17年度	H18年度
事業1	県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却。 農家有家畜(牛・馬)の周年受託業務。 草地等の維持管理業務。農家の巡回調査指導業務。 肉用牛の改良増殖業務。 家畜排泄物処理業務等	216,873	247,980	209,555
事業2	めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理。 公園施設、草地、植栽の維持管理。 来園者の対応、各種イベントの開催。	22,380	16,583	15,829
事業3				

【組織】

年度	平成17年度					平成18年度					平成19年度					
	職 員	プロ パー 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	
4月1日現在の人員																
役員	理事(常勤)	1		1		1		1		1		1		1		
	理事(非常勤)	8		4	4	7		4	3	7		4		3		
	監事(常勤)	0				0				0						
	監事(非常勤)	2		1	1	2		1	1	2		1		1		
	評議員	0				0				0						
	計	11	0	6	0	5	10	0	5	1	4	10	0	5	1	4
職員	管理職	1		1		2	2			2	2					
	一般職員	21	21			19	19			18	18					
	臨時職員	1			1	1			1	1				1		
	非常勤職員	0				0				0						
	計	23	21	0	1	1	22	21	0	0	1	21	20	0	0	1
プロパー職員の年齢構成 (H20. 4. 1現在)	年齢	～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61歳以上	合計					平均年齢	平均年収		
	男性		3	5	10	2		20	役員勤	※		(千円) ※				
	女性			1				1	職員勤			(千円)				
	合計	0	3	6	10	2	0	21	41	5,274						

※常勤役員は、1名のみのため個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		16年度	17年度	18年度	増減(18-17)
収 支 状 況	基本財産運用収入	35	106	150	44
	会費収入				0
	寄付金収入				0
	受託事業収入	239,253	264,563	187,337	△ 77,226
	自主事業収入			41,188	41,188
	補助金収入			2,270	2,270
	その他の収入	824	1,004	21,771	20,767
	当期収入計①	240,112	265,673	252,716	△ 12,957
	前期繰越収支差額		△ 2,487	791	3,278
	収入計②	240,112	263,186	253,507	△ 9,679
	人件費	160,464	175,520	138,101	△ 37,419
	その他の支出	82,135	86,875	110,197	23,322
	当期支出計③	242,599	262,395	248,298	△ 14,097
当期収支差額①-③	△ 2,487	3,278	4,418	1,140	
次期繰越収支差額②-③	△ 2,487	791	5,209	4,418	

(単位:千円)

項 目		16年度	17年度	18年度	増減(18-17)
財 務 状 況	流動資産	102,095	127,940	29,277	△ 98,663
	固定資産	29,867	28,756	118,062	89,306
	資産計	131,962	156,696	147,339	△ 9,357
	流動負債	15,408	20,701	24,067	3,366
	うち短期借入金				0
	固定負債	89,176	108,936	89,306	△ 19,630
	うち長期借入金				0
	負債計	104,584	129,637	113,373	△ 16,264
	正味財産	27,378	27,059	33,966	6,907
	うち基本財産等	10,000	10,000	10,000	0
	うち基本財産以外の正味財産	17,378	17,058	23,965	6,907
	うち当期正味財産増減額	△ 16,568	△ 320	6,906	7,226
	その他積立金等	33,946	17,378	17,059	△ 319

(単位:千円)

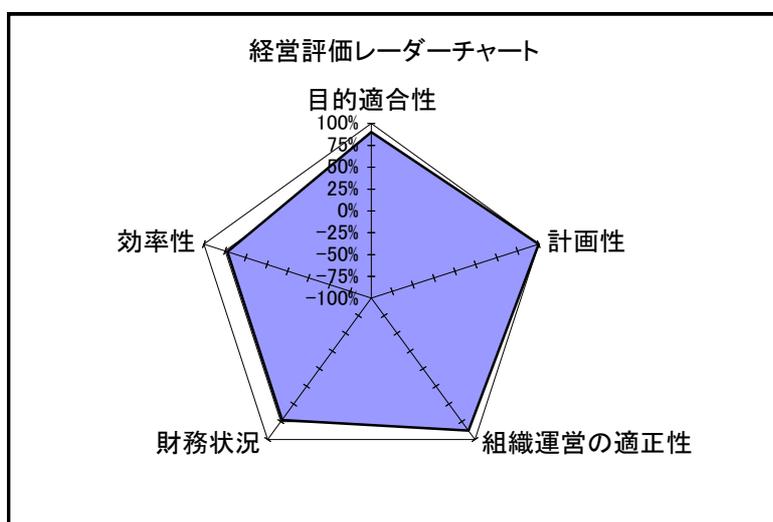
項 目		16年度	17年度	18年度	増減(18-17)
県 の 財 政 的 関 与 の 状 況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	10,298	10,452	0	△ 10,452
	人件費(派遣法以外)委託金	152,681	167,607	0	△ 167,607
	人件費以外の委託金	76,274	86,504	187,337	100,833
	委託金計	239,253	264,563	187,337	△ 77,226
	県支出金計	239,253	264,563	187,337	△ 77,226
	県の財政的関与の割合(%)	99.6	99.6	74.1	△ 26
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的】

項目	内容・目的
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	管理委託している施設の設置目的は県の畜産振興であり、県有牛の改良増殖等、本来は県で行うべき業務も指定管理者である協会へ委託している。また、採算性を考慮していない業務もあるため、県で委託費を財政的に支援し、協会の運営の円滑化を図っている。
債務負担行為	「県立まきば公園」の管理は3年間、「県立八ヶ岳牧場」の管理は5年間の債務負担行為に基づき管理委託料として執行している。

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	18	90.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	14	87.5%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	32	72.7%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	23	71.9%
合計		33	132	107	81.1%



【警戒指標】

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	県立牧場の活用により、農家家畜の受託と肉用牛の生産・売却を行い、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、本県の畜産振興をはかるため、指定管理者として基本協定に基づく業務を行い、事業目的の達成に努めた。
計画性	毎年度、事業計画を設定し、経営計画並びに事業運営合理化計画に基づき、より効率的な管理運営と経営の安定を図っている。
組織運営の適正性	平成18年度から指定管理者として管理運営するに伴い、組織、職員数等を見直しており運営は適正に行っている。
財務状況	主要な財源を県からの委託費と独自の収入源である利用料収入で充当し運営している。利用料収入は目標額の98%であったが、支出の削減に努めたことにより経常損益はプラスであった。
効率性	平成18年度から指定管理者として管理運営しており、既に運営方法の効率化は図られているが、より効率的な運営に努める。
総合的評価	利用料は、過去最大利用頭数を基礎としているため確保が厳しい面があるが、ほぼ目標を達成することができた。牧場、まきば公園、ともに利用者の多くから満足が得られており事業目的が達成されている。今後は、一層の合理的な協会運営や更なる自主財源の確保を計画的に進めていく。



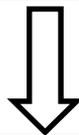
対応策	牧場管理業務については、衛生対策等を充分に行い受託頭数の確保に努めるとともに、自主財源の確保や徹底したコスト削減を図っていく。公園管理業務については、イベントの充実に努め、来園者数を維持する。牧場と公園の効率的な運営と利用者へのサービス向上を図り、情報の積極的開示を推進する。公益法人制度改革や新公益法人会計基準に対応できる組織体制の整備を図っていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】: (法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	・本県の大家畜による畜産振興を推進するため、県条例並びに当協会設置目的に従って受託事業等を適切に実施している。本県の畜産振興の推進に寄与していることから十分適合している。
計画性	・年次計画等に基づいた、中期経営計画を策定し、それに基づき効率的に組織を運営している。今後も各計画に基づき、適切な管理、運営が継続されることが見込まれる。
組織運営の適正性	・最小限の役・職員で的確かつ効率的に協会運営がなされており、人事・財務等の内部管理体制も適切に運用されていることから、組織運営は適正である。
財務状況	・利用料収入、人件費の抑制等により経常損益は黒字となり収益性が向上し、安全な経営を行っている。
効率性	・人件費の抑制により経営の効率性は高まっている。今後は人件費の抑制だけでなく意識改革を進めることで、人材を有効に活用していくことも必要である。
総合的評価	当協会の存在意義、組織体制、財務状況、職員の技術能力や意識水準等から総合的に高く評価できる。今後は、より一層の合理的な経営や自主財源の確保に努めていく必要がある。

【総合評価】: (経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> A (75%~) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> B (60%~75%) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> C (50%~60%) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> D (~50%) </div> </div>
※ランク下の%は得点概ねの目安であるが、総合的に評価するため、得点率とは必ずしも一致しない	<p>・県内の子牛の生産、育成を振興し畜産の安定的発展に寄与している法人であり、平成18年4月からは県立八ヶ岳牧場等の指定管理者となり、利用者サービスの向上や経費削減など更なる運営努力が期待されている。</p> <p>また、収入の9割以上をこれらの施設管理に依存していることから、収入確保・増収に向けたさらなる工夫、コスト縮減やサービス向上など不断の見直しが必須となる。</p> <p>・各評価項目は、財務状況の一部項目で評価を下げているものの平均水準以上にあり、全体的に見ても概ね健全な経営状況にあるといえる。特に指定管理者制度の導入により、委託料清算方式から利用料金制に変更され、利益確保が容易になったことから、経営の工夫により、評価数値の改善が期待できる。</p> <p>・一方、今後、職員の高齢化が進み組織体制の硬直化が想定される。職員の意欲向上を図りつつ、人件費総額を抑制する手法や適正規模の組織体制の構築に向けた検討が必要となる。</p>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

本県畜産振興という設置目的に沿って、八ヶ岳牧場の運営管理については、優秀な肉用繁殖牛の売却や冬期預託の拡大等利用者サービスの向上に努めるとともに、牧場利用料収入の確保を図るために、預託農家等への情報提供を充実させる。まきば公園の運営管理については、各種イベント内容の充実を図り、来園者へのサービス向上に努める。

また、職員構成の高齢化に対応できるよう、職員研修(外部、派遣を含む)の充実等による組織全体の活性化や資質向上を図るとともに、若手職員を登用することによって、全職員の意欲を向上させ、能力の有効活用に努める。